

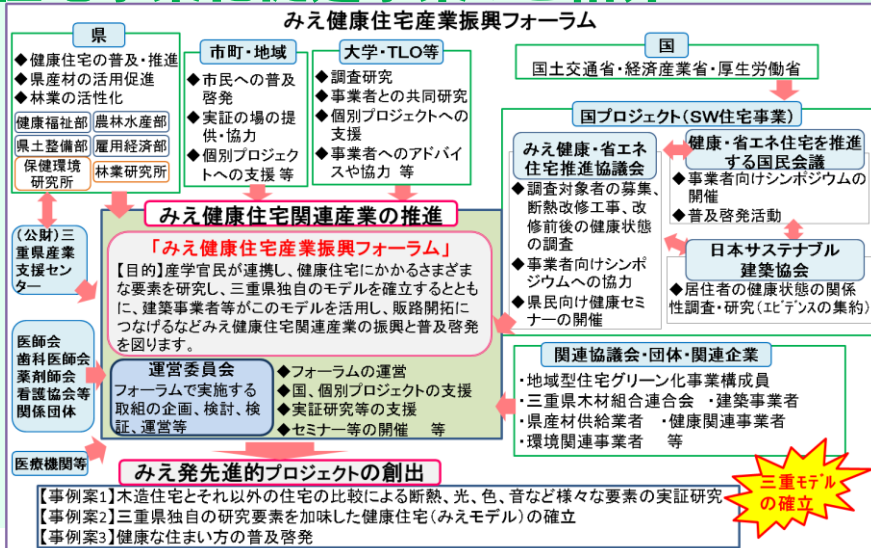
★Topics★

三重県産材活用健康住宅事業化促進事業のご紹介!

三重県では、産学官民が連携し、健康住宅※にかかるさまざまな要素を研究し、三重県独自のモデルを確立することで、建築事業者等がこのモデルを活用し、販路開拓につなげるなど健康住宅関連産業の振興と普及啓発を目指しています。

この取組の一環として、住宅関係者や有識者によるワークショップ、セミナーを開催しました。また、全国に先駆けて、「みえ健康住宅産業振興フォーラム」を設置しましたので、併せてご紹介します。

※「健康住宅」とは、健康の維持・増進に資する住まいのことをいいます。



三重モデルの確立に向けての取組

健康住宅実証

【主な研究者】三重大学大学院医学系研究科 基盤看護学領域 実践基礎看護学分野 教授 今井奈妙 氏

平成27年度 委託研究

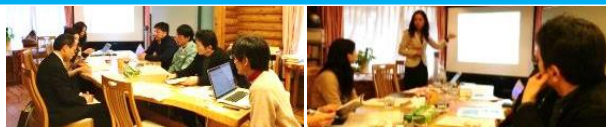
自然素材で新築・改修した住宅への入居による健康改善効果を検証する。

【共同研究者】(株)天然樹ホーム 照井 修二 代表取締役

平成28年度 ワークショップ

住環境が化学物質過敏症へ与える影響について、症例を元に検証を行い、三重モデル(三重型健康住宅)の仕様要素について検討する。

◆「化学物質過敏症患者が考える住宅環境」に関して化学物質過敏症患者3名へのグループインタビューを実施



健康住宅普及啓発

【主な研究者】トータルヘルス研究所 所長 医師 落合正浩 氏

平成27年度 委託研究

トータルヘルス住宅スクールシステム(健康住宅の集団対応の普及啓発などを目的として開発中のこころの健康、からだの健康など、健康をトータルに扱う健康住宅スクールシステム)の洗練進化を図る。

【共同研究者】

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治 氏
(一社)日本建築医学協会 理事長 松永 修岳 氏 等

平成28年度 ワークショップ

医療関連機関などで活用することを前提とした住まいと健康に関する住宅問診(アンケート測定)システムの導入部分の原案を作成し、医療関係者や県民を対象とした健康住宅の普及啓発へと繋げる。

「三重テレビニュースウィズ」にてセミナーの様子が放映されました。

「住まいと健康セミナー」を開催しました

2つのワークショップの成果「三重モデル」(三重型健康住宅)の仕様要素案)を含め、住まいにおける素材・温熱環境・光・色・音等が健康にもたらす影響など、まだ認知度の低い「住まいと健康の関係性」について、一般の方にもわかりやすくご紹介するセミナーを開催しました。

- ・日 時 平成29年3月4日(土) 14時から16時
- ・場 所 三重県総合文化センター 生涯学習棟4F 中研修室
- ・対 象 建築事業者の方、医療福祉関係者、その他一般の方
- ・内 容 第一部「その体調不良の原因、生活環境にありますか？」
三重大学大学院医学系研究科 教授 今井 奈妙 氏
第二部「トータルヘルス住宅研究の最新報告(住宅問診など)」
トータルヘルス研究所 所長 医師 落合 正浩 氏

